

## 講義シラバス

科目名	プロフェッショナルへの道	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	園田 翔太郎		講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校の通信課程を卒業し美容師免許を取得。在学中よりサロンで勤務し卒業後も美容師として経験を積む。その後、ヘアメイク・ブライダルの仕事も経験し幅広く活動しています。2018年より母校にて教育に携わっています。					

**【授業を通じての到達目標】**

1年後の自分のなりたいビジョンを明確にし、目標に向かって自ら考え行動することで就職内に繋げることができる。  
 社会人の仕組みやマナーを理解し、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力、対応力を身につける。

**【学習内容】**

就職活動についてのマナーや具体的なビジョンをグループディスカッションを通して考え行動する。  
 社会人の仕組みやマナー、働くということを経界講話などからイメージし目的を理解し、自身の目標を組み立てるようにする。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

筆記用具・ノート・プリントなど(各単元ごとに担任が準備する)

日時	授業計画	日時	授業計画
	<b>【到達目標】</b>		<b>【到達目標】</b>
① (4/22)	・自分のなりたい姿(キャリアビジョン)を描き、より明確に自己理解し就職内定に向けた目標設定をすることができる ※個人目標・クラス目標設定、クラス委員、インスタポートフォリオ作成	⑨ (6/24)	・業界講話から「感動」や「驚き」を見つけ、「働く」ことの意義や目的をイメージできるようになる ・自身の将来について考えることができる ※TOPサロンゼミ(業界・卒業生)
② (5/6)	・就職状況の分析をし、次にすべき行動計画・スケジュールをたてるようになる ・就職活動マナーについて理解することができる ※就職行動計画・スケジュール立て、インスタポートフォリオの作り方	⑩ (7/1)	・設定した目標に対しての振り返りを行い、改めて目標の再確認・再設定をすることができる ・自身の大切な価値観や考え方を理解し、前回よりも相手に好印象を与えるプレゼンができるようになる ※自己プレゼンテーション②
③ (5/13)	・現在の就職活動状況を理解し、具体的なアクションプランを組み立てることができるようになる ・主体的にクラスでのコミュニケーションをとり、行事に向けて準備ができるようになる ※アクションプラン立て・運動会ミーティング	⑪ (7/8)	・他者とともに生きるためのスキルや態度を身につけることができるようになる ・主体性と協調性を身につけることができるようになる ※クラスディスカッション
④ (5/20) オンライン	・業界講話から「感動」や「驚き」を見つけ、「働く」ことの意義や目的をイメージできるようになる ・自身の将来について考えることができる ※TOPサロンゼミ(業界・卒業生)	⑫ (7/15)	・他者とともに生きるためのスキルや態度を身につけることができるようになる ・主体性と協調性を身につけることができるようになる ・性教育の大切さについて理解することができるようになる ※クラスディスカッション、性教育、夏休みに向けて、クラス対抗出欠リレー
⑤ (5/27)	・自身の大切な価値観や考え方を理解し、相手に好印象を与えるプレゼンができるようになる ※自己プレゼンテーション①・運動会最終確認	⑬ (8/26) オンライン	・現在の就職活動状況を把握し、今後のアクションプランを組み立てることができるようになる
⑥ (6/3)	・業界研究、企業研究から就職に向けての視野を広げることができるようになる ※業界研究・企業研究・アクションプランシートを詳細にする	⑭ (9/2)	・就職活動マナーについて理解することができるようになる ・社会における人間関係の作り方を学び、卒業後の自身をイメージできるようになる ※グループディスカッション
⑦ (6/10)	・互いの価値観を尊重し、役割を理解し協調性を身につけることができるようになる ・就職面接に向けた対策をチームで導き出すことができるようになる ※グループ面接ディスカッション①	⑮ (9/9)	<b>【定期試験】50</b> 3Sで身につけた知識の確認 ・自己エントリーシート作成、プレゼンテーション
⑧ (6/17)	・互いの価値観を尊重し、役割を理解し協調性を身につけることができるようになる ・就職面接に向けた対策をチームで導き出すことができるようになる ※グループ面接ディスカッション②	<b>【成績評価の方法と基準】</b> ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**

## 講義シラバス

科目名	保健	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	15 時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	2年生		
講師名	岡田 弥生	講師 プロフィール	看護師として20年以上手術室、外科系の病院に勤務していたが、フリーランス看護師に転身。病気、けがの対応について学生に教えられる。						

### 【授業を通じての到達目標】

人体全般の構造と動きについて理解する。美容師としてかかわることが多い部位の皮膚と皮膚付属器の構造と動きについて学び知識を得る事ができる。国家試験に向けてポイントを整理する事ができる。

### 【学習内容】

人体の構造、皮膚の構造を理解できるように、パワーポイントやプリントを用いて授業を行う。小テストで確認テストを行い不明な点を理解できるように振り返り学習を行う

### 【使用教科書・教材・参考図書】

教科書・プリント・国家試験過去問題・看護師解剖学問題集

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

日時	到達目標	日時	授業計画
① (4/22)	【到達目標】 頭部、顔部、頸部の名称を覚える。	⑨ (6/24)	【到達目標】 美容の施術において重要な皮膚の構造、名称を覚える
② (5/6)	【到達目標】 骨格と筋の動きについて覚える。美容師に必要な顔の筋肉について理解する	⑩ (7/1)	【到達目標】 美容師にとって重要な毛髪についての基本的な知識、眉線、爪、汗腺の動きを理解する
③ (5/13)	【到達目標】 神経の動きについて理解する。交感神経、副交感神経について理解する	⑪ (7/8)	【到達目標】 皮膚が生命にとって重要な役割であることを理解する。
④ (5/20)	【到達目標】 5感の情報を集める感覚器の構造と動きを覚える。	⑫ (7/15)	【到達目標】 皮膚の状況を理解し適切な皮膚の手入れについて学ぶ。
⑤ (5/27)	【到達目標】 血液の動きを学び血液が全身を循環している仕組みを理解し、心臓、血管、リンパ節の役割を知る。	⑬ (8/25)	【到達目標】 アレルギーなどによる皮膚疾患の種類と原因を理解する。
⑥ (6/3)	【到達目標】 体に必要な酸素を取り入れる呼吸器系の動きを理解する	⑭ (9/2)	【到達目標】 感染性の皮膚疾患の種類と原因を理解する
⑦ (6/10)	【到達目標】 体に必要な栄養素を吸収し、老廃物を排泄する消化器の動きを理解する	⑮ (9/9)	【定期試験】50 学んだ事をテストを通して振り返ることができる。教科書より出題。選択式問題。
⑧ (6/17)	【到達目標】 前期前半で学習した内容が理解されているか小テストで確認し不明点を解決できる	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

授業内容の理解。遅刻、授業内容の指導

講義シラバス

科目名	化粧品化学	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	山下 賢司	講師プロフィール	理系の分野を専門として、受験生を対象に指導を行っている。 札幌ベルでは、物理・化学、化粧品化学を中心に美容師国家試験の筆記対策を担当。						

【授業を通じての到達目標】

美容の施術を行う上では、様々な化粧品が使用されている。また、私たちは日常生活でも様々な化粧品を使用している。これら化粧品は、化学と密接な関係があり、その性質や特徴を理解することが安全性の上でも重要であり、正しい知識を持つことが必要であると認識する。

【学習内容】

化粧品について学ぶ上で必要な「化学の基礎的な内容」を学習した後、化粧品についての概論、および、化粧品の成分となる様々な原材料について学ぶ。

【使用教科書・教材・参考図書】

化粧品化学教科書、問題集、プリント、内容によっては実験器具  
筆記用具、ノート(ルーズリーフ可)は必ず持ってくる。

【授業時間外における学習】

宿題提出があるかも…

回	授業計画	回	授業計画
① (4/21)	【到達目標】 化学の基礎である、物質の構成・構造について正しく理解する。 身の回りにおける物質について、その成り立ちや特徴、物質の変化について知識を深める。 苦手な人も多いが、化学式などにも慣れていく。	⑨ 6/23	【到達目標】 化粧品は人体に直接使用するものであり、その品質や有用性や安全性の確保が重要である。 その目的のために定められている法律に基づいて、現在行われているいくつかの規定について学ぶ。
② (4/28)	【到達目標】 化粧品のほとんどは溶液やコロイドの状態である。 透明な化粧水や香水は溶液の状態であり、乳液やクリームは白濁したコロイドの状態である。 これら溶液やコロイドの性質について正しく理解する。	⑩ 6/30	【到達目標】 皮膚の構造をもとに、健康な皮膚を維持する上で最も基本となる水性原料と油性原料について理解する。具体的な水性原料、油性原料を覚える。
③ 5/12	【到達目標】 酸と塩基の定義と性質、pH、酸と塩基が反応してできる塩の性質について学ぶ。 化粧品には、様々な目的で酸や塩基が使用されており、美容と関連が深いことを理解する。	⑪ 7/7	【到達目標】 界面活性剤の構造とその基本的性質、種類と特徴、及び、その用途について理解する。 化学基礎での溶液とコロイドの内容と関連しているため、結び付けて理解できるようになる。
④ 5/19	【到達目標】 酸化・還元反応は、美容においてはパーマや染毛、脱色などの技術に深く関係している。 酸化・還元反応とはどのようなものなのか、具体的な酸化剤や還元剤がどのような働きをしているか理解する。	⑫ 7/14	【到達目標】 化粧品に用いられる高分子化合物の種類と特性について理解する。 色材の種類と特性、及び、その用途について理解する。
⑤ 5/26	【到達目標】 有機化合物とはどのような物質であるのか。また、具体的な有機化合物の物質の分類やその性質を学び、化粧品とのかかわりを理解する。	⑬ 7/21	【到達目標】 化粧品の品質保持、機能成分、その他の特殊成分について、配合目的と具体的な成分について学ぶ。成分の数も多く、覚えにくい名前のあるものも、しっかり区別し理解する。
⑥ 6/2	【到達目標】 毛髪や表皮、爪の主要成分であるケラチンは、天然高分子化合物の一種のタンパク質である。 そのほかにも美容の分野には、多くの高分子化合物が利用されている。 ケラチンをメインとして、高分子化合物について理解する。	⑭ 8/25	【到達目標】 化粧品用原料の全体を通したおさらいと、追加の内容があるときにはその分野について学び理解する。定期試験に向けての心構えなどを自覚する。
⑦ 6/9	【到達目標】 化学基礎分野の内容について、最低限の知識を持ち、理解ができるようになる。 問題内容を正しく読み取り、正しい答えが導けるようになる。	⑮ 9/1	【定期試験内容】 化学基礎・化粧品概論・化粧品用原料 四択問題50問の出題。1問1点の50点満点。 【評価項目とフィードバック】 絶対評価 出題文章の内容を確実に読み取り、その正解が導けるようになる。 各自、後期への心構えを行う。
⑧ 6/16	【到達目標】 化学基礎の内容をもう一度振り返り、化粧品化学の学習に生かせるようにする。 化粧品とはどのようなものなのか理解する。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点、定期試験50点 ●評価 A評価(80~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

【履修に当たっての心構え・留意点】

聞いたり見たりしたことは、自ら書いたり言葉にして発することで知識が定着します。授業内容は、各自ノートにしっかり書いて、提出してもらいます。

## 講義シラバス

科目名	衛生管理ⅢⅣ	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	沖田 史代	講師 プロフィール	看護師として病院に勤務後、2018年より札幌ベルエポック美容専門学校にて講師とし、保健、衛生管理を担当しています						
【授業を通じての到達目標】									
美容師は髪や頭皮など人の体に直接触れる仕事なので、使用する器具や施術における衛生管理の重要性と知識が習得できる。									
【学習内容】									
教科書を中心とした美容師に必要な「公衆衛生・環境衛生」「感染症」「消毒法」について解説し、演習問題を行い、国家試験にむけてポイントを整理し確認していく。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
教科書(衛生管理)、プリント									
日時	授業計画				日時	授業計画			
①(4/21)	【到達目標】 公衆衛生とは何か、どのように発展してきたのかを学び、我が国の公衆衛生が理解できる。また、美容師と公衆衛生との関わりを理解する。				⑨ (6/23)	【到達目標】 空気・飛沫を介して感染する感染症、飲食物を介して感染する感染症を習得できる。			
② (4/28)	【到達目標】 公衆衛生の第一線機関としての役割をになっている保健所のはたらきと、美容師との関わりが理解できる。公衆衛生の中の母子保健について理解できる。				⑩ (6/30)	【到達目標】 血液を介して感染する感染症、動物・節足動物を介して感染する感染症について習得できる。			
③ (5/12)	【到達目標】 公衆衛生の中の成人・高齢者保健、精神保健について、平均寿命、健康増進、生活習慣病などについて学習し理解できる。				⑪ (7/7)	【到達目標】 消毒法の歴史や定義、病原微生物の構造など、基礎知識を学習し消毒について理解できる。			
④ (5/19)	【到達目標】 環境衛生の概要、目的や意義を学習し、空気環境と健康の関わりについて理解できる。				⑫ (7/14)	【到達目標】 理学的消毒法、化学的消毒法について理解できる。			
⑤ (5/26)	【到達目標】 人が生活を送る上で必要不可欠な衣服・住居の衛生、及び下水道や廃棄物処理について学習し理解できる。				⑬ (7/21)	【到達目標】 消毒薬の種類、希釈法、希釈液について理解できる。			
⑥ (6/2)	【到達目標】 環境衛生の中でさまざまな感染症の原因となる衛生害虫やネズミについての知識が習得できる。				⑭ (8/25)	【到達目標】 美容の現場で実際に行われている消毒法について理解できる。			
⑦ (6/9)	【到達目標】 感染症と人間の社会生活、人と感染症の関わり、感染症の種類、法律による分類を学習し理解できる。				⑮ (9/1)	【定期試験】50 公衆衛生・環境衛生、感染症、衛生管理技術(消毒法)の範囲で筆記試験			
⑧ (6/16)	【到達目標】 微生物の種類、病原性、人体の感受性、感染・発病・感染予防について理解できる。				【成績評価の方法と基準】				
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト50点/定期試験50点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
教科書を忘れない									

## 講義シラバス

科目名	関係法規	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	演習	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	石野 紀子	講師 プロフィール	市内中学校の教員を経て本校で美容師国家試験の筆記科目、通信スクーリングの授業、コンテストのヘアスタイル画等を指導している。						
【授業を通じての到達目標】									
国家試験の必須科目である関係法規制度について学び、社会において法が必要とされる理由と法令の特徴を理解する。国家試験過去問題の出題意図を読み取り、解答を導く事が出来るようにする。									
【学習内容】									
法制度の概要、衛生行政、美容師法、環境衛生監視員、管理美容師、関連法規について理解する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
関係法規・制度									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/22)	【到達目標】 法制度の概要～社会生活における法の役割について理解し、学習を計画的に行う事が出来る。				⑨ (6/24)	【到達目標】 美容師の罰則規定(行政処分、司法処分)について理解する。			
② (5/6)	【到達目標】 衛生法規の概要、分類について理解し、衛生法規が公衆衛生の向上のために必要である事を理解する。				⑩ (7/1)	【到達目標】 管理美容師の規定、職務、必要とする美容所について理解する。			
③ (5/13)	【到達目標】 厚生労働省、都道府県及び市町村の役割を理解し一般行政に関する機関について学ぶ。				⑪ (7/8)	【到達目標】 美容所の開設者、開設に必要な事項について理解する。			
④ (5/20)	【到達目標】 保健所の役割と機能、地球保健法について仕組みを学び理解し美容業との関わりを学ぶ。				⑫ (7/15)	【到達目標】 美容所以外の美容の業について、業の禁止、特別な事情がある場合について理解する。			
⑤ (5/27)	【到達目標】 美容師法の目的、仕組み、規制の形態について理解し美容業との関わりについて学ぶ。				⑬ (8/26)	【到達目標】 美容所の立入検査の内容、立入検査を行う環境衛生監視員の役割について理解する。			
⑥ (6/3)	【到達目標】 美容師養成施設、美容所、人に関する規定について理解する。				⑭ (9/2)	【到達目標】 美容業に関する関連法規について美容師法と絡めながら理解する。			
⑦ (6/10)	【到達目標】 美容師試験の概要・美容師の義務について理解し、美容師の義務である衛生監視について理解する。				⑮ (9/9)	【定期試験】 国家試験科目としての関係法規制度全般を身につけているか。			
⑧ (6/17)	【到達目標】 理解度確認テスト 前編内容についてこれまでの理解度を知る。				【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(70～79点)/C評価(60～69点) D評価(50～59点)/E評価(40～59点) F評価(30～39点) 不合格 ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
出席、遅刻、忘れ物、前向きに授業に取り組む姿勢									

## 講義シラバス

科目名	美容技術理論	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	講義	総時間数	30 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	飯嶋 美智江	講師 プロフィール	異業種より美容業界へ転職し、美容師と着付け師範の資格を取得。サロンワークを経て、美容学校の教職に就き27年目を迎える。現在は国家試験科目の筆記を担当。						
【授業を通じての到達目標】									
美容師国家試験に向けた基礎知識の理解を深めて、応用が利く能力を高めることを目標とする。									
【学習内容】									
1年次に学んだ学習内容の基礎知識を強化し、美容師としての幅広い技術と理論を学び、国家試験の過去問題と出題傾向に関連づけた解説を中心に行う。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
美容技術理論①教科書、B6判ノート(理論専用ノート)、筆記用具、4サイズポケットファイル(30ポケット)					A 教科書の写真・図の理解を深める。ワークブック過去問対策(コピー使用)				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/21)	【到達目標】 美容技術に必要な人体各部名称と作業姿勢、美容用具の特徴・目的を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑨ (6/23)	【到達目標】 ヘアセッティング①<オリジナルセット～コムアウト><カールとウェーブの名称・種類・方向性・ベースの種類>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
② (4/28)	【到達目標】 シャンプー①<目的・種類・成分・注意事項・サイドシャンプー・バックシャンプー>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑩ (6/30)	【到達目標】 ヘアセッティング②<ピンニング・ヘアウェーピング・ブロードライ・バックコーミング・ウィッグとヘアピース>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
③ (5/12)	【到達目標】 シャンプー②<リンス・コンディショナー・トリートメントの違い・成分、スカルプトリートメント>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。5/19分プリント配布				⑪ (7/7)	【到達目標】 パーマントウェーブ①<毛髪の構造とパーマントウェーブの理論、パーマ剤の種類と特徴>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
④ (5/19)	【到達目標】オンライン講義<教科書使用> ヘアデザイン<錯覚現象を活かしたデザインとバランス>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑫ (7/14)	【到達目標】 パーマントウェーブ②<パーマントウェーブ技術の手順、注意事項、縮毛矯正、バリエーションいろいろ>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
⑤ (5/26)	【到達目標】 ヘアカッティング①<目的、正しい姿勢、美容刃物、基礎理論>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑬ (7/21)	【到達目標】オンライン講義<パワーポイント使用>&教科書使用 ヘアカラーリング<ヘアカラーの種類とタイプ別特徴、染毛のメカニズム、色の基本、ヘアブリーチのポイント>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。			
⑥ (6/2)	【到達目標】 ヘアカッティング②<ベーシックなカット技法、シザーズとレザーによるカット技法>理論を国家試験の出題傾向に合わせて理解する。				⑭ (8/25)	【到達目標】 <定期試験対策>美容技術理論①教科書全般より定期試験対策として重要ポイントの強化、理解を深める。			
⑦ (6/9)	【到達目標】 理解度確認テストに向けた復習(解説)1～6週目の授業内容の強化で理解を深める。				⑮ (9/1)	【定期試験】50点 <定期試験>4択問題を中心に行い、読解力と応用力を鍛えることを目的とする。			
⑧ (6/16)	【到達目標】 <理解度確認テスト>各章のこれまでの理解度と弱点を自覚する。				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(80～100点)/B評価(60～79点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
問題意識をもって授業への参加を心がけよう!!									

## 講義シラバス

科目名	美容実習 II・III (オールウェーブ)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	稲川 千絵	講師 プロフィール	市内大手の美容室に勤務後、円山の個人店勤務をしながら平成16年から本学校で国家試験科目第二課題(オールウェーブ)を専門に分かりやすく教えることを心掛けています。						

### 【授業を通じての到達目標】

国家試験実技課題。オールウェーブ7段構成をバランス良く作れるようになる

### 【学習内容】

正確なウェーブ幅、テンションの効いた艶のあるウェーブ、リッジ、7段と縦3等分のバランスの良い額を確認作業をしながら、合格基準に近づけていく

### 【使用教科書・教材・参考図書】

シラバス・AW道具一式・タオル4～5枚・筆記用具・雑巾(タオル2つ折り縫っていないもの)

### 【授業時間外における学習・宿題・課題など】

毎週宿題あります

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/16) (4/20)	2段目から3段目カール縦1/3、7段目まで額を正確に作れるようになる 3段目のスカルプチュアカール収まる位置、割れないウェーブを作れるようになる スカルプチュアカール復習	⑨ (6/22) (6/25)	額の強化 正しい姿勢、コームの使い方、45度シェープの角度を理解し、7段と縦3等分のバランスの良い額をつくれるようになる
② (4/23) (4/27)	正しい姿勢、目線、コームの使い方意識しながら、バランスの良い額が作れるようになる スカルプチュアカールを正確な位置に収め、カールの大きさ、ピンの持ち方、広げ方を正しくできるようにする	⑩ (6/29) (7/2)	額の強化 クロッキノールカールに入る 正しい姿勢、目線、手つきができるようになる
③ (5/7) (5/11)	1段目馬蹄形に入る 正確なウェーブ幅、縦3等分のバランスを確認し、馬蹄形の毛流れにスカルプチュアカールを正確に収められるようになる	⑪ (7/6) (7/9)	クロッキノールカールの復習 正しいクロッキノールカールができるようになる
④ (5/14) (5/18)	オンライン授業 馬蹄形、スカルプチュアカールテスト 馬蹄形の理解度をチェック 馬蹄形の真行き、幅、カールの大きさ、ピンニングの方向を理解できるようにする	⑫ (7/13) (7/15)	正確な額のスピードアップバランスの良い額、クロッキノールカールを23分で作る
⑤ (5/21) (5/25)	2段目毛流れ、ウェーブ幅の正確性を理解できるようにする 馬蹄形～2段目ウェーブ幅、リッジ、3段目スカルプチュアカールまでできるようにする	⑬ (7/20) (8/27)	オンライン授業 額の強化 4・5・6段目横スライスを正確にバランス良く取る バランスの良い額に7段目にクロッキノールカールを入れる
⑥ (5/28) (6/1)	馬蹄形から2段目ウェーブ、リッジ、3段目スカルプチュアカールまで バランス良く作れるようになる タイムを計って馬蹄形のチェックを行う	⑭ (8/24) (9/3)	定期テスト 23分(4・5・6段目カール除く) バランスの良い額に4・5・6段目横スライス取り 7段目クロッキノールカールまでバランス良く作れるようになる
⑦ (6/8) (6/11)	馬蹄形～2段目ウェーブ、リッジ、3段目スカルプチュアカールの復習し、 右、左フロントサイドのくり抜きを正確につくれるようになる	⑮ (9/7) (9/10)	【定期試験】50 オールウェーブ7段構成(4・5・6段目カール除く) 23分 7段と縦3等分のバランスの良い額が時間内にできるようになる
⑧ (6/15) (6/18)	中間テスト 額の正確性をテスト 正しい目線、姿勢、コームの使い方を意識しながら 7段と縦1/3のバランス良いものができるようになる	【成績評価の方法と基準】	

### 【履修に当たっての心構え・留意点】

国家試験は技術だけでは合格できません。忘れ物、衛生も重要です。毎回の授業の積み重ねが大切になっていきます。

- 小テスト50点/定期試験50点
- 評価  
A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点)  
E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)
- 評価方法  
評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。

## 講義シラバス

科目名	美容実習(ワインディング)	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース		学年	2年生		
講師名	北俣京子	講師 プロフィール	市内サロン就職 その後北海道美容専門学校勤務数年前よりベルエポック美容専門学校講師として勤務						

**【授業を通じての到達目標】**

ワインディング基礎的技術を身につけ 完成時間を短縮していく

**【学習内容】**

オンベース 1/2オフベース シンメトリーを正確に収める技術を身につける

**【使用教科書・教材・参考図書】**

WD用具一式 プリント 筆記用具・名札

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

日時	授業計画	日時	授業計画
① (4/16) (4/20)	【到達目標】 ブロッキング 2本線 センターのスライス幅 シェープが正確に出来る	⑨ (6/22) (6/25)	【到達目標】 左BS 姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る
② (4/23) (4/27)	【到達目標】 センターを真っすぐ収められ オフベース オフベースを正確に巻く	⑩ (6/29) (7/2)	【到達目標】 左BS 姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る
③ (5/7) (5/11)	【到達目標】 ロッド幅に毛を広げられる 1本 25秒	⑪ (7/6) (7/9)	【到達目標】 個々の苦手部分を強化しレベルを上げる 全頭 24分
④ (5/14) (5/18)	【到達目標】 センター 面に艶があり平行に収められている 1本 24秒	⑫ (7/13) (7/15)	【到達目標】 全体を見ながら 正確にロッドを収められている 全頭 23分
⑤ (5/21) (5/25)	【到達目標】 センター 面に艶があり ゴムの掛けの正確性 1本 23秒	⑬ (7/20) (8/27)	【到達目標】 オンベース オフベース シンメトリー 面 全頭 23分
⑥ (5/28) (6/1)	【到達目標】 フロント 右BS上巻きの姿勢 スライス ステム ラウンドが正確に出来る 1本 22秒	⑭ (8/24) (9/3)	【到達目標】 オフベース オンベース シンメトリー 面 ゴムの掛け方 全頭 23分
⑦ (6/8) (6/11)	【到達目標】 右BS下巻きのスライス ステム ラウンドが 正確に出来る 1本 21秒	⑮ (9/7) (9/10)	【到達目標】 全体のバランス、シンメトリー 面 ゴムの掛け方 時間内完成 23分
⑧ (6/15) (6/18)	【到達目標】 右BS スライス ステム ラウンド 面 ゴムの掛け正確に出来る 1本 20秒	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	

**【履修に当たっての心構え・留意点】**



## 講義シラバス

科目名	美容総合 I (コスメ研究)	必修 選択の別	選択	開講 区分	3 S	授業 形態	演習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース	ヘアメイク専攻	学年	2年生		
講師名	金澤春花	講師 プロフィール	札幌ベルエポック美容専門学校ヘアメイク科卒業後、 札幌にある写真館にヘアメイクとして入社。 現在はフリーランスとして、これまでに約2000件のフォトウェディングを担当し、 札幌でヘアメイクアーティストとして活動中。						
【授業を通じての到達目標】									
お客様の要望に沿ったメイクを時間内(30分)に提供できる技術を身につける。									
【学習内容】									
お客様にメイクすることを想定し、相モデルでメイクを練習する。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
メイク道具一式、筆記用具、ノート									
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】小テスト2点 オリエンテーション、シラバス説明、メイク道具のセッティング・使い方を説明。				⑨ (6/21)	【到達目標】小テスト5点 コントアリングメイク。相モデルの骨格を見極め、 顔に合ったコントアリングメイクを提供できるようになる。 ベースはマットで相モデルメイク。30分以内に完成。			
② (4/26)	【到達目標】小テスト2点 ベースメイクの前のスキンケアの重要性を理解し、お客様に合ったスキンケアができる ようになる。 スキンケア～ベースメイク施術(相モデル)。20分以内に完成できるようにする。				⑩ (6/28)	【到達目標】小テスト5点 テーマ『春』メイク。相モデルに似合ったメイクを提供する。 その場で相モデルから要望を聞き出し、 モデルに合ったメイクを30分以内で完成できるようにする。			
③ (5/10)	【到達目標】小テスト2点 ご要望に合ったアイメイク～アイブロウを提供できるようになる。 スキンケアから施術(相モデル)。20分以内に完成できるようにする。				⑪ (7/5)	【到達目標】小テスト5点 テーマ『夏』メイク。相モデルに似合ったメイクを提供する。 その場で相モデルから要望を聞き出し、 モデルに合ったメイクを30分以内で完成できるようにする。			
④ (5/17)	【到達目標】小テスト2点 ご要望に合った肌感のハイライト・シェーディングを提供できるようになる。 スキンケアから施術(相モデル)。30分以内に完成できるようにする。				⑫ (7/12)	【到達目標】小テスト5点 テーマ『秋』メイク。相モデルに似合ったメイクを提供する。 その場で相モデルから要望を聞き出し、 モデルに合ったメイクを30分以内で完成できるようにする。			
⑤ (5/24)	【到達目標】小テスト3点 相モデルの要望に合ったスキンケアからハイライト・シェーディングまで施術(相モデル)。 30分以内で完成できるようにする。				⑬ (7/19)	【到達目標】小テスト5点 テーマ『冬』メイク。相モデルに似合ったメイクを提供する。 その場で相モデルから要望を聞き出し、 モデルに合ったメイクを30分以内で完成できるようにする。			
⑥ (5/31)	【到達目標】小テスト2点 お客様の肌質に合ったベースメイクで、艶肌を作る。 30分以内に完成できるようにする。				⑭ (8/23)	【到達目標】小テスト5点 似合わせメイク。相モデルに似合ったメイクを提供する。 その場で相モデルから要望を聞き出し、 モデルに合ったメイクを30分以内で完成できるようにする。			
⑦ (6/7)	【到達目標】小テスト2点 お客様の肌質に合ったベースメイクでマット肌を作る。 30分以内に完成できるようにする。				⑮ (9/15)	【定期試験】50 似合わせメイク。相モデルに似合ったメイクを提供する。 その場で相モデルから要望を聞き出し、 モデルに合ったメイクを30分以内で完成できるようにする。			
⑧ (6/14)	【到達目標】小テスト5点 相モデルからその場で要望を聞き出し、要望に沿ったメイクを提供できるようになる。 30分以内で完成できるようにする。				【成績評価の方法と基準】				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●小テスト50点/定期試験50点				
					●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)				
【履修に当たっての心構え・留意点】					●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

## 講義シラバス

科目名	美容総合カラー	必修 選択の別	選択	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	2年生		
講師名	種物谷 聡史、吉田 光輝	講師 プロフィール	SWANグループ本店、店長、副店長。札幌で3店舗を展開。OPENして3年で3店舗、入社後スタッフ離職率0%!! 最先端の技術を札幌最速で発進している。						

**【授業を通じての到達目標】**

ヘアカラーの理論、知識を理解し、卒業後の就職先での即戦力を目指します。

**【学習内容】**

ヘアカラーの仕組みや理論を理解した上で、様々なカラー技法をウィックで実習します。

**【使用教科書・教材・参考図書】**

シラバス、カラー用具一式、ブロー用具一式、アイロン、ウィック、筆記用具、

**【授業時間外における学習・宿題・課題など】**

その都度、お伝えします。

日時	授業計画	日時	授業計画
	【到達目標】		【到達目標】
① (4/19)	カラーの基礎知識、カラー、ブリーチデザインを理解し、カラー技法の幅を広げることができる。(座学)	⑨ (6/21)	ブリーチ技法の種類を理解、組み合わせ方、薬剤の違いを理解することができる(座学)
② (4/26)	アルカリカラーでの色だし、塗布ができるようになる。	⑩ (6/28)	インナーカラー、フェイスフレイミングのベース作りができるようになる。
③ (5/10)	グラデーションカラーのブリーチでのベース作り、塗布ができるようになる。	⑪ (7/5)	インナーカラー、フェイスフレイミングの色だし、塗布ができるようになる。
④ (5/17)	ブリーチワークで重要な事を理解することができる。(オンライン授業)	⑫ (7/12)	定期試験に向けたベース作り、ブリーチ、塗布ができるようになる。
⑤ (5/24)	グラデーションカラーの色だし、塗布ができるようになる。	⑬ (8/23)	インナーユニコンカラーのやり方を理解することができる。(オンライン授業)
⑥ (5/31)	ハイライトカラー1、ベース作り、ホイールワークの理解をすることができる。	⑭ (8/30)	定期試験に向けたベース作り、色だし、塗布ができる。
⑦ (6/7)	ハイライトカラーの色だし、塗布ができるようになる。	⑮ (9/6)	定期試験 作品を評価
⑧ (6/14)	【到達目標】 前期中間チェック グラデーション or ハイライトどちらかのデザインを時間内にイメージ通り完成することができる。	【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。	
<b>【履修に当たっての心構え・留意点】</b>			
授業に忘れ物をせず必ず出席する			

## 講義シラバス

科目名	美容総合カット	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	45	時間
学科	美容師科			コース	ヘアスタイリスト専攻	学年	2年生			
講師名	養島 竜二	講師 プロフィール	2007年zerohair入社、トップスタイリスト 社内技術指導担当、主にカットを指導しています ディーラー、メーカー、他サロンなどの外部講師も務める。コンテスト等にも積極的に参加し受賞歴多数							
【授業を通じての到達目標】										
カットの原理を習得し、デザインを形にできる技術を身につける										
【学習内容】										
カットからスタイリングまでの技術を用いてクリエイティブなデザイン力を身につける										
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】					
ウィッグスピロ102、カット ブロー スタイリング道具一式					時間内にできなかった技術の習得					
日時	授業計画				日時	授業計画				
	【到達目標】					【到達目標】				
① (4/20)	ブロー、スタイリングによる仕上がりの変化の違いを理解できるようにする				⑨ (6/22)	出題されたテーマでクリエイティブスタイルをカットすることができるようになる				
② (4/27)	カットによるシルエットの変化を理解できるようにする				⑩ (6/29)	テーマに沿ってオリジナルのデザインを考えカットすることができるようになる				
③ (5/11)	グラデーション レイヤーの違いを理解できるようにする				⑪ (7/6)	出題されたテーマでクリエイティブスタイルをカットすることができるようになる				
④ (5/18)	オンラインでのデモを見てデザインの考え方や展開図の書き方を学ぶ				⑫ (7/13)	テーマに沿ってオリジナルのデザインを考えカットすることができるようになる				
⑤ (5/25)	展開図を書いてみて実際にその通りカットすることができるようになる				⑬ (7/20)	オンラインでのデモを見てクリエイティブスタイルのトータルでの仕上げ方を学ぶ				
⑥ (6/1)	展開図を書いてみて実際にその通りカットすることができるようになる				⑭ (8/24)	時間を計りイメージしたものができると確認する				
⑦ (6/8)	時間を計りイメージしたものができると確認する				⑮ (9/7)	【定期試験】50 定期試験 時間内にカットの正確さ、スタイリングの綺麗さ、デザイン性があるか、自分た				
⑧ (6/15)	【到達目標】 中間テスト 習ったことを踏まえてデザインを考えカットスタイリングをする				【成績評価の方法と基準】					
					<ul style="list-style-type: none"> <li>●小テスト50点/定期試験50点</li> <li>●評価 A評価(90～100点)/B評価(80～89点)/C評価(70～79点)/D評価(60～69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0～59点・不合格)</li> <li>●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。</li> </ul>					
【履修に当たっての心構え・留意点】										
遅刻、欠席、忘れ物がないことが望ましく万が一の場合は事前に授業内容										

## 講義シラバス

科目名	サロンワーク	必修 選択の別	必修	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	135 時間
学科	美容師科			コース	サロン実践専攻	学年	2年生		
講師名	阿部雅記	講師 プロフィール	Remii大通店勤務。カット・パーマ・カラー・online教育のプロデューサーを務める。 社内でも数々の動画コンテンツでの育成に携わる。 サロンで役立つパーマ、カラー技術を教えることが出来ます。						
【授業を通じての到達目標】									
サロン入社後、即戦力となるカラー、パーマ、シャンプー、スタイリングなどのアシスタント業務や接客、コミュニケーション力、美容師としての在り方、考え方を学ぶ。									
【学習内容】									
サロン実習を通じて、サロン入社後即戦力となる、知識、技術、接客などを学ぶ。									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
シラバス、カラー用具一式、パーマ用具一式、ブロー用具一式 ヘアアイロン、ウィッグ、筆記用具					ウィッグデザインの仕込みなど				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① 4/19(月)	【到達目標】 オリエンテーション、自己紹介、アイスブレイク、美容師、アシスタントとしての考え方を学ぶことができる				⑤ 6/21(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)をすることができる			
① 4/20(火)	シャンプートレーニング(動画、マニュアル共有)				⑥ 6/22(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
② 4/26(月)	【到達目標】 ブリーチ塗布(前頭)ができるようになる				⑩ 6/28(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)をすることができる			
② 4/27(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				⑩ 6/29(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
③ 5/10(月)	【到達目標】 ブリーチ塗布、オンカラー(前頭ブリーチ、オンカラー)ができるようになる				⑪ 7/5(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)をすることができる			
③ 5/11(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				⑫ 7/6(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
④ 5/17(月)	【到達目標】 カラー技術理論【Online】(カラー基礎を学び理解することができる)				⑬ 7/12(月)	【到達目標】 相モデル・サロンワーク(5人サロンワーク、相モデルでトータルコーディネート&撮影)をすることができる			
④ 5/18(火)	動画鑑賞・レポート【Online】				⑬ 7/13(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
⑤ 5/24(月)	【到達目標】 カット・スタイリング(展開図、スタイルカット)ができるようになる				⑭ 7/20(火)	【到達目標】 動画鑑賞・イメージデッサン【Online】			
⑤ 5/25(火)	シャンプートレーニング(相モデル)								
⑥ 5/31(月)	【到達目標】 試験スタイル制作・仕込み(中間チェックに向けて)をすることができる				⑮ 8/23(月)	【到達目標】 定期試験仕込み(デッサン、展開図)をすることができる			
⑥ 6/1(火)	シャンプートレーニング(相モデル)				⑮ 8/24(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
⑦ 6/7(月)	【到達目標】 試験スタイル制作・仕込み(中間チェックに向けて)をすることができる				⑯ 8/30(月)	【到達目標】 定期試験仕込み(カラー仕込み)をすることができる			
⑦ 6/8(火)	シャンプートレーニング(相モデル)								
⑧ 6/14(月)	【到達目標】 中間チェック(制作スタイル本番)				⑰ 9/6(月)	【定期試験】50 カット・スタイリング試験			
⑧ 6/15(火)	サロン実習に向けての心得(サロンワークするうえでの準備、注意点を学ぶ)				⑰ 9/7(火)	シャンプートレーニング(相モデル)			
【履修に当たっての心構え・留意点】					【成績評価の方法と基準】				
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価: A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法: 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				

## 講義シラバス

科目名	美容総合(ヘアアレンジ&メイク)	必修 選択の別	選択	開講 区分	3S	授業 形態	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース	ヘアメイク専攻	学年	2年生	
講師名	アトリエノ蓮川	講師 プロフィール	メイクアップアトリエは、CM、広告、TVなどの撮影現場やショー、舞台、ドラマプライダルなどのモデルやタレント、 一般のヘアメイクをはじめ、美容専門学校の講師、さらに世界4大コレクションの一つNYコレクションに参加。 海外まで活動の場を広げているアーティストが14人が所属するヘアメイク事務所です。 □					
【授業を通じての到達目標】								
モデルに合わせたヘアセットとメイクが出来るようになる								
【学習内容】								
ヘアメイクの基礎技術の復習と応用を学び、テーマに合わせた作品作り・作品撮り								
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】			
ヘアメイク道具一式								
日時	授業計画				日時	授業計画		
① (4/20)	【到達目標】 小テスト2点 オリエンテーション、シラバス説明、科目の必要性を理解する				⑨ (6/22)	【到達目標】 小テスト5点 【クール】をイメージし、ヘアメイクの施術が出来るようになる。		
② (4/27)	【到達目標】 小テスト3点 基礎メイクを復習し、モデルに施術が出来るようになる。				⑩ (6/29)	【到達目標】 小テスト5点 【カールアップ】をウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。		
③ (5/11)	【到達目標】 小テスト3点 ポイントメイクのテクニックをより深め、モデルに施術が出来るようになる。(アイシャドウ、アイブロー)				⑪ (7/6)	【到達目標】 小テスト5点 【編み込みを取り入れたスタイル】をウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。		
④ (5/18)	【到達目標】 小テスト3点 メイクの様々な知識を学ぶ。(オンライン授業)				⑫ (7/13)	【到達目標】 小テスト5点 【ルーズなアップスタイル】をウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。		
⑤ (5/25)	【到達目標】 小テスト3点 ポイントメイクのテクニックをより深め、モデルに施術が出来るようになる。(チーク、リップ、ハイライト、ローライト)				⑬ (7/20)	【到達目標】 小テスト3点 画像の模写メイクが出来るようになる。(オンライン授業)		
⑥ (6/1)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアセットの基礎を復習し、ウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。(ピン打ち、黒ゴム、編み込み、ねじり編み)				⑭ (8/24)	【到達目標】 小テスト2点 【季節】をテーマにコンセプトシートを考え、それに基づいたヘアメイクが出来るようになる。(テスト練習)		
⑦ (6/8)	【到達目標】 小テスト3点 ヘアセットの基礎を復習し、ウィッグ、モデルに施術が出来るようになる。(カールアイロン、ストレートアイロン、整髪料の使い方)				⑮ (9/7)	【定期試験】50 【季節】をテーマにヘアメイクが出来るようになる。		
⑧ (6/15)	【到達目標】 小テスト5点 【キュート】をイメージし、ヘアメイクの施術が出来るようになる				【成績評価の方法と基準】			
					●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。			
【履修に当たっての心構え・留意点】								

## 講義シラバス

科目名	美容総合(撮影テクニック)	必修 選択の別	選択	開講 区分	3S	授業 形態	実習	総時間数	45 時間
学科	美容師科			コース	ヘアメイク専攻	学年	2年生		
講師名	葛西雄紀	講師 プロフィール	(株)カミト fika 店長兼カラーリスト 同会社Z SALONIにて5年間店長として勤務したのち新店舗fikaに配属。ハイトーン系のカラーと特殊ヘアセットを得意とし、道内で特殊ヘアセットのセミナー活動経験あり。道内外でのフォトコンテスト受賞歴多数あり。2018年度北海道ヘアドレッシングアワードフューチャースター部門 準グランプリ 獲得						
【授業を通じての到達目標】									
撮影の基礎知識とテクニックを学び、サロンスタイルのクオリティアップ。特殊ヘアスタイリングをマスターし、クリエイティブ作品を作成できるようにする。また、撮影作品をフォトコンテストに出す。									
【学習内容】									
撮影基礎知識の授業と機材を使った撮影、スマホを使った撮影。ワイヤーなどの特殊素材を使用した撮影テクニック、アイロンワークなどの実習									
【使用教科書・教材・参考図書】					【授業時間外における学習・宿題・課題など】				
スマホ、持っている人は一眼レフカメラ、セット用ウィックとセット用具一式 撮影に使えるような衣装や小物などは随時用意 最初の授業は筆記用具のみ、それ以降は授業の前に伝えます。					業界のヘアのトレンドや、ファッションなどをSNSや雑誌などで常にインプットしておく				
日時	授業計画				日時	授業計画			
① (4/19)	【到達目標】この授業の趣旨を理解し、今後の進捗を把握していく。 オリエンテーション 今後の授業進行にあたってのディスカッション				⑨ (6/21)	【到達目標】撮影のイメージを決め、当日スムーズに撮影ができるようにする 【実技】撮影に向けて準備と練習、仕込み			
② (4/26)	【到達目標】自分自身や友達、撮影モデルの顔のタイプ分析ができるようになる 【座学】女性像やイメージ、似合わせの理論を学ぶ				⑩ (6/28)	【到達目標】作品撮影 チームに分かれモデルヘアメイクのリハーサル 【実技】撮影に向けての準備とフィッティング			
③ (5/10)	【到達目標】自分の今の技術、知識やヘアスタイルの癖を理解する 【実技】スマホを使ったサロンスタイル撮影 アイモデル				⑪ (7/5)	【到達目標】フォト作品を作り上げることができる 【撮影実技】撮影会前半(アイロンを使用したスタイル)			
④ (5/17)	【到達目標】スタイルのバリエーションを今よりも増やす 【オンライン】撮影した作品の反省とディスカッション 頭の体操				⑫ (7/12)	【到達目標】フォト作品を作り上げることができる 【撮影実技】撮影会後半(アイロンを使用したスタイル)			
⑤ (5/24)	【到達目標】スタイル写真から実際にヘアスタイリングを作り2次元と3次元を実感する 【実技】スタイルの具現化				⑬ (8/23)	【到達目標】次回撮影作品のクオリティを上げることができる 【座学】フォト撮影の反省 ディスカッション			
⑥ (5/31)	【到達目標】髪の毛の動きとボリュームを自在に扱えるようになる 【実技】テーマやシチュエーションをイメージしたスタイリングを学ぶ				⑭ (8/30)	【到達目標】スタイルのバランス感覚を学び理解することができる 【オンライン】ウィッグを使って作品作り練習			
⑦ (6/7)	【到達目標】作品制作に必要なイメージを作り、第三者に伝えられるようになる 【座学】作品作りにあたっての準備 イメージボード作りやヘアデッサンなど				⑮ (9/6)	【定期試験】50 イメージや形のテーマに合わせたスタイルを作る 例)三角、可愛い、強いなど			
⑧ (6/14)	【到達目標】クリエイション撮影に向けての技術幅を広げる 【実技】クリエイションフォトに向けての特殊セット ワイヤーやすき毛を使ったセット I				【成績評価の方法と基準】 ●小テスト50点/定期試験50点 ●評価 A評価(90~100点)/B評価(80~89点)/C評価(70~79点)/D評価(60~69点) E評価(出席不良・評価資格喪失)/F評価(0~59点・不合格) ●評価方法 評価基準に関しては別紙「授業評価表」に則り、点数化し評価する。				
【履修に当たっての心構え・留意点】									
生徒同士で実際に撮影をし、フォトコンテストに作品を提出します。									